

日立一中生
必見!

災害時お助けマップ

動機

一人で電車で学校へ通学しているときに災害にあい、電車がとまったらぼくはどうしたらよいのだろうかと考えた。まずはスマホを持っているので親に連絡すると思った。しかし、東日本大震災の時はすぐにスマホが使えなくなったという話を聞いた。スマホがなかったら、ぼくはどうしたらいいかわからなくなってしまう。そこで、災害にあったときに連絡に使える公衆電話や、いざというときに助けを求められるひなん所を音周ることにした。

目的

始めは自分の通学路だけを調べようと思ったが、中学校のみんなも同じようにこまってしまうのではないかと考えた。そこで、中学校のみんなが使っている駅について公衆電話の設置場所と駅から一番近いひなん所を調べた。そして、日立一附属中のみんなにとっての災害マップになり、みんなに役立ててもらえるように作成した。

茨城県立日立第一高等学校附属中学校
一年 今井蓮人

調査方法

日立駅から中学校までは実際に歩いて確認をして、写真を撮ってきた。各駅については自分で行ったり、インターネットで調べたり、兄に聞いたりしてまとめた。

- ...各駅から近いひなん所(●は、日立駅が近いひなん所)
- ...各駅周辺の公衆電話
- ...日立駅周辺のAED

日立駅



公衆電話について 通学路にある公衆電話



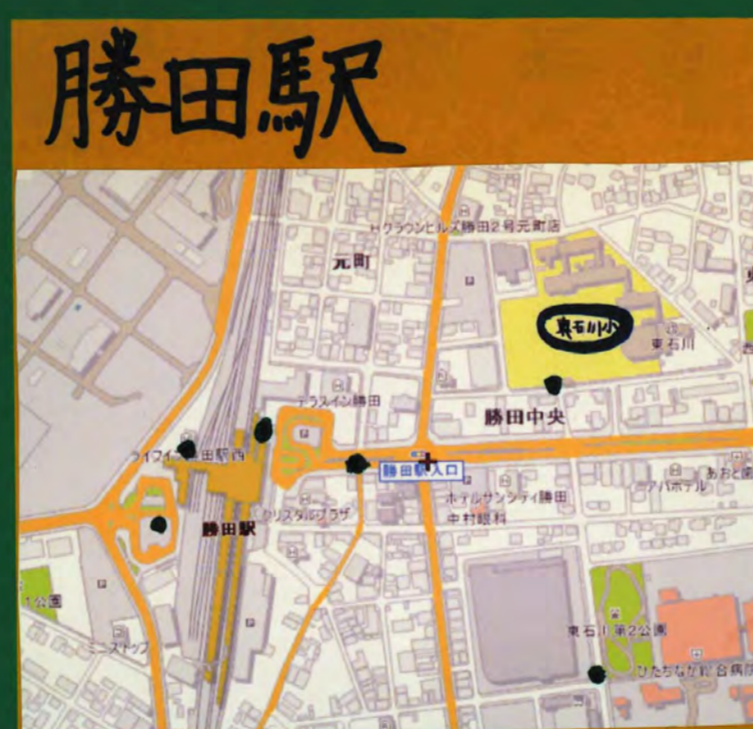
市役所の公衆電話



公衆電話の使い方

- ① 受話器をはずす。
- ② お金(10円or100円)を入れる。
※おつりは出ません。
- ③ 電話番号をプッシュする。
- ④ 通話
- ⑤ 受話器をもとめて通話終了。

*ただし、けいたい電話に10円で通話できる時間は、15.5秒しかない。



考察

各駅(佐和駅以外)には公衆電話はあったが、駅周辺を調べると公衆電話がほとんどない駅もあることがわかった。また、学校から日立駅までを調べると、何年前の災害マップにのっていた公衆電話も行ってみると、今はなくなっていることもわかった。スマホが普及し、公衆電話はあまり使われなくなったが、災害の時は公衆電話がないと連絡がとれないので、公衆電話は減らさないでほしいと思った。次に、各駅から近いひなん所を調べていたら高萩駅と十王駅の周りは浸水区域になっていることがわかった。駅から離れなければいけないときには、このことに注意して行動しなければいけないと思った。災害時対応自動販売機のように、たくさんあると思っていたものが今はなくなっていることもあるので、こまめに調べる必要があると思った。

まとめ

僕は、駅が安全というイメージを持っていたが、必ずしもそうではない場合もあり、災害の種類によっては駅から離れたところ、ひなん所に向かう方がよいことが分かった。公衆電話の使い方はあまり知らなかったが、調べて安心した。最後に、日立一附属中のみんながこのマップを見て、災害時の対応を家族と話をしたり、実際の災害時に役立ててもらえるとうれしいと思う。

災害時対応自動販売機について

日立市内の災害時対応自動販売機をさがしたけれど見つからず、市役所の防災対策課に話を聞きに行きました。そこで、市で管理している災害時対応自動販売機は現在はひとつもないということがわかりました。以前は、何台かあったようですが、管理が大変だったり、東日本大震災の時に1人の人がたくさんもらうなど、あまり多くの人に活用できなかったという問題があり、現在は市では1つも管理されていません。また、家の近くでも災害時対応自動販売機のある場所を調べましたが、以前はあったけど、現在は使われていないことがわかりました。